

大会特別規程及び注意事項

平成30年山口県中学校軟式野球選手権大会

〔試合方法〕

- 1 トーナメント方式とする。
- 2 1試合7回とする。同点の場合は延長戦2回までとし、それでも勝負が決しないときには、特別延長戦を行う。

5回以降7点差が生じた場合、または天候・日没等によって試合続行が不可能な場合（正式試合に該当する場合）はコールドゲームとする。（但し決勝戦は適用しない。）

《特別延長戦》

継続打順で前回の最終打者を1塁走者とし、2塁、3塁の走者は順次前の打者とする。すなわち、無死満塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームの勝ちとする。勝敗が決しない場合は、さらに継続打順で得点差が生じるまでこれを繰り返す。なお、通常の延長戦と同様、規則によって認められる選手の交代は許される。

なお、5回までに、天候、日没等で試合続行が不可能になり、コールドゲームが適用されない場合は、翌日以降特別継続試合を適用する。

〔特別規則〕

- 1 監督又は引率教員は、試合開始予定時刻の1時間前にチームの到着を大会本部（会場責任者）に報告する。
- 2 次試合の主将は前試合の4回終了時に打順表5部を本部（会場別）に提出すること。その際攻守を決定する。この時部長又は監督が立ち会うこと。
- 3 組み合わせの若番が一塁側とする。
- 4 場内における打撃練習は行えない。1対1のトスバッティング（ペッパー）のみ可。
- 5 試合前のシートノックは7分以内とする。ただし試合の進行状況により短縮または中止することがある。補助員（ヘルメットを着用）を3名以内つけることができる。
- 6 降雨、日没などの天候状態によるコールドゲームは5回以降の得点をもって勝敗を決定するが、試合が規定により不成立の場合、または同得点の場合は翌日特別継続試合かまたは再試合にするかなど審判員と大会本部で協議して決定する。（原則は特別継続試合）
- 7 試合の進行上予定の時刻より早く終了した場合は、支障のない限り引き続いて次の試合を行うものとする。
- 8 会場によっては特別グラウンドルールをつくる。
- 9 投手は、1日9イニングまでを限度とする。（ただし、特別延長戦は除く）投球イニングに端数が生じたときの取り扱いについてはアウト三つで1イニングとする。
- 10 大会2日目及び3日目は、第2試合終了後、第3試合の開始までには6.0分間確保する。
- 11 特記なき事項については、中国中学校体育連盟野球部「H29改訂大会運営に関する取り決め事項」及び「用具・装具規定」、監督者会議及び軟式野球専門部の申し合わせ事項に従うこと。

〔注意事項〕

- 1 ・選手は、同一のユニホームを着用し、背番号は1～18とする。
 - ・監督、コーチも同一のユニホームを着用する。監督は背番号30をつけ、コーチは背番号29、28をつける。
 - ・コーチでない教員は、ユニフォームは着用せず、平服（ワイシャツ・ネクタイまたは白のポロシャツ）に選手と同一の帽子とする。但し、女性部長の服装は考慮する。
 - ・ノッカーは選手と同じ服装であること。従ってスパイク（ポイント可）を着用し、サングラス使用してはならない。
- 2 ダックアウト（またはベンチ）には本大会の登録メンバー以外は入ってはならない。
- 3 登録選手の変更は、登録選手以外の選手のみ認める。「登録選手変更届」は大会1日目、開会式前の受付時に提出すること。それ以降の提出は、認められない。